



庵さま

- おとうさん 真也さま
- おかあさん 真季子さま
- 赤ちゃん 平成24年12月27日生 央佑(おうすけ)くん 2,286g 男の子 葉菜(かなな)ちゃん 2,098g 女の子

初めての妊娠は、夫と「子供が欲しい」と話をして10カ月目に判りました。妊娠が判ったことにもびっくりし、双子だと言われ、さらにびっくりした

のと同時に不安もありました。しかし、妊娠中から、職場の上司、同僚、先生方、家族にすぐく支えられ、妊娠後期の入院生活も充実して過ごすことができました。帝王切開での出産も、たくさんの方々に声をかけてもらい、安心して手術を受けることができ、手術室で泣き声を聞き子供の顔を見られた時には本当に感動しました。リスクが高いと言われていた双子の出産も、母子共に元気に出産を終えることができ、心から感謝しています。ありがとうございました。これからも大変なことが多いと思いますが、周りの支えに感謝しながら、夫と共に力を合わせ頑張っていこうと思います。

私の好きな風景



風雪となって気温が氷点下になると、内灘大橋の排水口から流れ落ちる消雪水が、放水路岸辺の草木に降りかかって樹氷となる。樹氷の形、大きさはさまざまで、少し雪をかぶった樹氷が、陽射しを受けて透けて見える光景は、私にとって、一冬に1、2回見られるかどうかの貴重な風景である。(撮影：中谷 渉)

◆編集後記

私が「医科大どおり」の編集業務に携わるようになって約10年経ちますが、皆さまに少しでも分かりやすく読みやすい文章で、内容が充実した「医科大どおり」を発行できるよう努力していきたいと思っています。そこで、皆さまには「医科大どおり」を通して、病院のこんなところが知りたいですとか、こういう特集を掲載してほしいなどの声を聴かせていただければ幸いです。

なお、皆さまのご意見につきましては、冊子下記にあるEメールアドレスや病院内に設置されておりますご意見箱からも投書できます。

編集委員 病院管理課 西島 大輔

院内にご意見箱を設置しております。みなさまの「声」をお聞かせください。



病院運営の基本方針

1. 患者さま中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さま・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度先進医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

患者さまの権利

当院は、医療の中心は患者さまであると認識し、患者さまには次のような権利があることを宣言します。

- 人間としての尊厳や人権が尊重され、安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関に受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報は厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。

患者さまへのお願い

当院は、大学病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さまには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さまの迷惑にならないようご配慮ください。
- 当院は教育・研修施設として医学生・看護学生等の臨床教育実習を行っておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

医科大どおり

【発行】2013 季刊誌第18巻第4号 発行／金沢医科大学病院

編集／金沢医科大学病院ニュース編集委員会

モットー いつでも 誰でも 安心してかかれる病院

あなたに贈る健康へのメッセージ——知ってください病院のこと、身体のこと

医科大どおり

2013 冬

第18巻/第4号



昔遊びシリーズ(風あげで遊ぶ夢芽ちゃん)

病院の理念

私たちは「生命への畏敬」を医療活動の原点として 次のような病院を目指します

- 患者さま中心の安全で質の高い医療を提供します。
- 人間性豊かで有能な医療人を育成します。
- 新しい医療の研究・開発を推進します。
- 地域の医療機関と協力し地域の医療福祉の向上に貢献します。



金沢医科大学病院

【連絡先】TEL(076)286-3511 FAX(076)286-2372
ホームページアドレス <http://www.kanazawa-med.ac.jp/>
Eメールアドレス kanrika@kanazawa-med.ac.jp

メディカルトレンドアイ

最新
TOPIC

【感染症科】

ノロウイルスについて

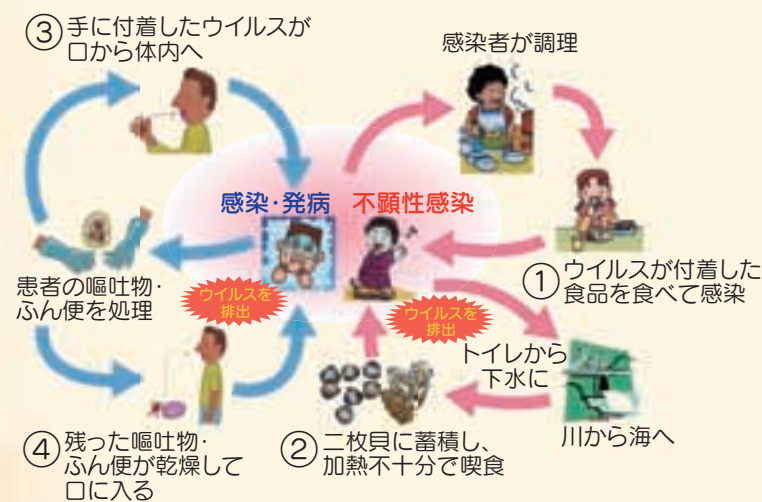


感染症科
教授 飯沼 由嗣

ノロウイルスは、感染性胃腸炎を起こすウイルスであり、毎年晩秋～2月くらいにかけて流行が見られます。感染力が非常に強くアルコール消毒にも抵抗性を示すため、食中毒や集団感染を容易に起こします。今シーズンは変異したウイルスの流行もあって感染者数や集団感染が多くなっており、特に警戒が必要です。

ノロウイルス胃腸炎の特徴と家庭での対処法

ノロウイルス胃腸炎は、感染してからおよそ1～2日後に、激しい嘔吐および下痢で発症します。治療薬はありませんが、症状は数日以内に自然に収まります。その間脱水にならないよう、水分(スポーツドリンクなど)の摂取に心がけましょう。ただし、症状が激しい場合や脱水症状が見られる場合には医療機関での点滴治療も必要となります。また、嘔吐物や下痢便には多量のウイルスが存在しますので、それらに触れるときには使い捨ての手袋を着用し、吐物による汚染部位や使用後の便座は薄めた塩素系台所用漂白剤(キッチンハイターなど)で消毒して下さい。



ノロウイルスの感染経路(東京都保健福祉局のホームページより)

予防法

ノロウイルスは二枚貝(牡蠣など)に棲息していますので、しっかりと火を通してから食べましょう。また、流行期にはウイルスはいたる所に存在し、手から口に入り感染します。従って、外出後、トイレの後、食事や調理の前は流水と石けんによる手洗いをしっかりと行いましょう。これは、ノロウイルス以外の様々な流行性感染症の予防にも効果的ですので、この時期は必ず行うよう心がけてください。

(記：感染症科 教授 飯沼 由嗣)

●特定疾患シリーズ

【消化器内科】

クローン病



消化器内科
教授 有沢 富康

クローン病は消化管に深い縦長の潰瘍ができる原因不明の病気で、もともと欧米に多い病気でしたが、潰瘍性大腸炎とともに近年日本をはじめとする東アジア地域で急増しており、厚生労働省への届出数は平成21年度には約3万5千に達しています。全消化管に潰瘍が形成される可能性があるものの、大多数は小腸や大腸に病変が形成されます。非常に深い潰瘍が形成されるため、小腸や大腸が繰り返す潰瘍により狭くなって腸閉塞をきたしたり、腸管同士が癒着し交通してしまう腸管・腸管瘻の形成や、消化管が皮膚や膀胱、膣などと交通を形成することもまれではありません。炎症が腹膜に達したり腸管が穿孔することで腹膜炎をきたしたり、潰瘍が動脈を破綻することで大量出血をきたすこともあります。また、難治性の痔瘻の合併も特徴といえます。一般にクローン病は、このような進んだ状態になってから症状が起こる場合が多く、発見時には手術を余儀なくされることも少なくありません。近年、徐々にですが病態の解明が進み、治療法は大きく進歩してきています。手術をしても確実に再発するために、従来は極力手術を回避しつつ成分栄養療法を行う治療法が主として用いられてきました。しかし、生物学的製剤である抗TNF抗体の登場により、2ヶ月に1回の点滴をうけることでお世辞にもおいしいとは言えない成分栄養に依存しなくても済むようになり(現在も小腸型では成分栄養療法の重要性はある)、また不必要な手術を回避することで十分な日常生活をおくれないようなことも少なくなりました。なによりも大切なことは腸管の変形をきたす前の早期に発見することですが、原因不明の炎症反応上昇、低コレステロール血症、難治性痔瘻の存在はクローン病を疑わせる徴候であり、一度専門医に相談することが望まれます。

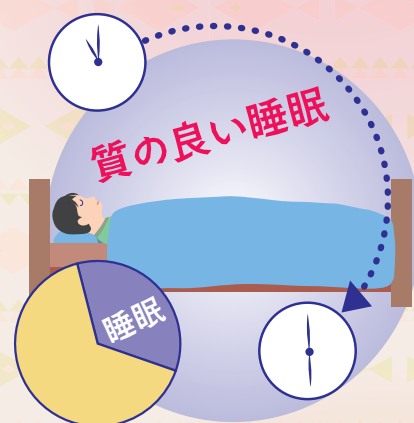
(記：消化器内科 教授 有沢 富康)

私の健康法 紹介します



病院事務部
事務長 古居 滋

健 康法と言えるかはわかりませんが、睡眠時間を規則正しくしっかり取るということでしょうか。ありきたりですが、毎朝ほぼ決まった時刻に起きて、だいたい決まった時刻に眠るというふうに、単調ですが安定した生活リズムの習慣化を心掛けています。1日の約3分の1が睡眠時間ということになりますので、できるだけ快適に睡眠をとるようにしています。これまでも健康増進につながるようなウォーキングや体操にもチャレンジしたこともありますが、なかなか長続きしませんでした。そんな中で、これからもストレス解消や適度の飲酒、一定の運動なども取り入れながら質の良い睡眠をとれるように、心掛けていきたいと思っています。今のような寒い時期には、運動が特に行き難しといったところでしょうか。



看護部
副部長 才田 悦子

気 を付けていることはいっぱいあります。水分をたくさん取ること、食事は野菜から食べ始めてご飯は最後に量を半分に、腹8分目、夜8時を過ぎたら炭水化物は食べない、甘いものは控える、運動をする、などなど。これだけしっかり気を付けていれば、ぼっちりのはずですが、三日坊主の性格が災いして、ほとんど改善できていません。しかし、「ぼっちりの方がいいよ」と誰かに言われたことを固く信じて、明るくありたいと思っています。もう一つ、自分だけの時間を持つことも大切だと思います。私はファンタジー小説を読むのが大好きなのでよく読みます。最近読んだのは、オクサ・ボロック。子供向けの小説ですが、13歳のオクサがこれからどのように運命に立ち向かっていくのか、全6巻しっかり読んでいく予定です。みなさんもいかがですか？



お知らせ

災害訓練を実施しました

当院では、毎年、地震・火災に備えるために災害訓練を実施しております。

平成24年度は11月13日に、時間内訓練（第1次・第2次）と時間外訓練の3回に分けて実施しました。

時間内訓練（第1次）では、地震後に火災が発生したとの想定で、各外来、病棟のフロアごとに出火場所を設定し、身体防御、通報連絡、初期消火、患者さまの避難誘導等の訓練を行いました。

時間内訓練（第2次）では、新館8階東病棟のダイニングで火災が発生したとの想定で、実際に発煙筒を点火して病棟に煙を発生させて訓練を行いました。また、当院と連携している内灘町消防本部から消防車を出動させ、実際に放水を行う消火訓練等を実施しました。

時間外訓練では、夜間に別館6階病棟のダイニングで火災が発生したとの想定で、職員が手薄な時間帯における災害発生時の通報連絡、非常呼集、患者さまの避難誘導、初期消火等の訓練を行いました。

今後も当院の安全管理に努め、防災体制の強化に努めてまいります。



採用情報 平成26年度 看護職員募集要項

- 職 種／看護師、助産師
- 募集人員／90名
- 応募資格／平成26年3月 看護学校、大学等の卒業予定者及び既卒者
- 採用試験、説明会／6月から11月の期間、毎月一回開催予定。
※詳しくは、金沢医科大学病院ホームページをご覧ください。
<http://www.kanazawa-med.ac.jp/~hospital/>
- 問い合わせ先／金沢医科大学病院 病院職員課
TEL: 076-286-3511 (内線: 5040~5044)
e-mail: syokuin@kanazawa-med.ac.jp

輝きたい！

学びたい！

看護したい！

一緒に働きませんか？



【小児科】

季節で多発する小児の病気・流行するウイルス

【冬編】



小児科
教授 犀川 太

寒冬のなか、いよいよインフルエンザの流行期に入りました。冬の代名詞であるインフルエンザについて解説します。

インフルエンザ

インフルエンザ (influenza) は、インフルエンザウイルスを病原とする気道感染症です。「一般のかぜ」とは分けて考えるべき「重くなりやすい疾患」です。A型とB型が流行することをご存知と思います。2009年に世界を震撼させたA型インフルエンザウイルスは、それまでに毎年流行していたウイルス（季節性インフルエンザ）と大きく型が異なっていたため、新型ウイルスと呼ばれました。現在では、これも季節性インフルエンザの仲間入りをして2009(H1N1)pdm09という名前になりました。今シーズン（2012/2013冬）用のインフルエンザワクチンはこの2009(H1N1)pdm09とA香港型およびB型の3種類に対するワクチンを含んでいます。

インフルエンザウイルスに感染すると1～3日後に、高熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などが現われます。次いで、咳、鼻汁が続きます。約1週間の経過で軽快するのが典型的なインフルエンザです。高齢者では持病の悪化に加えて、肺炎を起こしやすくなります。小児では中耳炎、熱性痙攣や気管支喘息を誘発する他に、インフルエンザ脳症を引き起こすことがあります。

インフルエンザは抗インフルエンザ薬による治療が可能です。現在では内服薬（1種類）、吸入薬（2種類）、注射薬（1種類）の合計4種類のお薬がありますので、状況に応じた使用が可能です。平成24年4月から学校等への出席停止期間は「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで。幼稚園児については、保育所と同様発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過するまで」となりました。

「健康情報－季節で多発する小児の病気・流行するウイルス－」は今回で連載の最後になりました。なんといっても、感染症は予防が第一です。マスクの着用や、外出後のうがいと手洗いはすべての基本的予防です。



（記：小児科 教授 犀川 太）

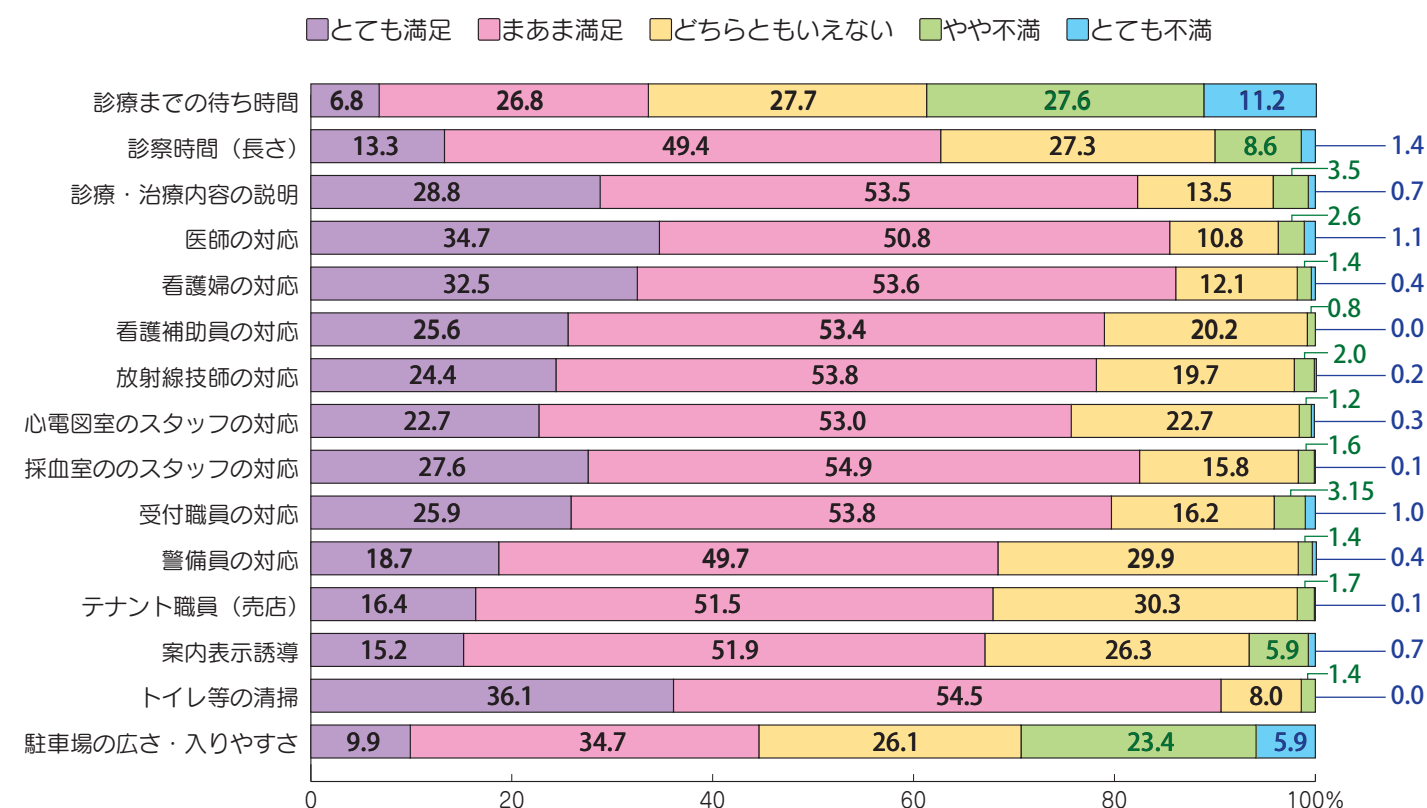
いりょうじょうほう

医療情報

「平成24年度外来患者さま満足度アンケート結果」について

当院では、外来患者さまを対象に外来診療における診療内容・サービス等について満足度やご意見をアンケート形式で収集し、外来診療の向上や病院の運営に役立てることを目的として、年1回「外来患者さま満足度アンケート」を実施しております。

今年度は平成24年9月11日、12日に実施し、870名の患者さまにご回答いただきましたので、ご報告いたします。



◆アンケート結果から

◎「診療までの待ち時間」、「駐車場の広さ・入りやすさ」へのご不満が多く、非常に重要な課題として認識しております。

◎待ち時間短縮のための方策については協議を重ねており、順次実行してまいりたいと考えております。

◎また、お書きいただいたご意見ご要望も真摯に受け止め、『患者さま中心の安全で質の高い医療』を提供する病院として、患者さまから信頼される病院づくりを目指して努力してまいります。